

製造業のビジネスチャンスが見える
モノづくり最新情報サイト
じゃぱんお宝にゆ〜す
<https://japan.otakaraneews.com>

じゃぱんお宝にゆ〜す

モノづくり現場の未来を見つける
製造業応援サイト
じゃぱんお宝WEB新聞
最新情報満載！好評配信中！

KOMATSU 排気ガスゼロで長時間稼働

有線式電動油圧ショベル PC138USE-11発売 エンジン駆動式に匹敵する作業性能を実現 電源(三相交流400V)が確保できる現場で幅広く活躍

**騒音・排熱を大幅削減
24時間稼働の産廃処理
工場等の生産性向上に**

コマツ(社長：小川 啓之氏)は、有線式電動油圧ショベル「PC138USE-11」を発売した。

同機は、電動油圧ショベルを連続して長時間使用したいユーザーニーズに応え、これまでコマツが培ってきた技術をベースにエンジン駆動式と同等の作業性能を発揮しつつ“排出ガスゼロ”や騒音・排熱の大幅低減を実現する。

また、国内導入した有線式電動油圧ショベルとしては、2021年7月発売の「PC78USE-11」に続く、2機種目となる。

**燃料補給やエンジン回りの
メンテナンス作業が不要**

有線式電動油圧ショベル「PC138USE-11」は、駆動源に電気モーターを採用し“排気ガスゼロ”や騒音・排熱・振動の大幅低減を実現することで作業現場の安全性・快適性を向上させるほか、オペレーターのストレス軽減に貢献する。

また、電気モーターの特性により車両寿命が延長されるとともに、燃料補給やエンジン回りで必要とされたメンテナンス作業が不要になるため、車両のランニングコスト削減が可能。

そのほか、電源を有線で直接供給するため充電式の電動車と異なりバッテ

リー残量を気にすることなく長時間連続稼働できる。これにより、特に産廃処理工場など24時間稼働が必要とされる作業現場での生産性向上が期待できる。

**ダントツバリューで
サステナブルな未来を
次の世代へつなぐ**

コマツは、2020年に電動式ミニショベル「PC30E-5」を、2021年には有線式電動油圧ショベル「PC78USE-11」を国内向けに市場導入したほか、他機種種の電動化についても外部パートナーとの共同開発を含め推進している。

環境負荷の少ない建設機械の実用化を加速させるとともに今後の更なる普及を目指していく。

コマツは中期経営計画「DANTOTS U Value – Together, to “The Next” for sustainable growth」に掲げている、ダントツバリュー(収益向上とESG課題解決の好循環を生み出す顧客価値の創造)を通じて、未来の現場に向けた次のステージに踏み出し、サステナブルな未来を次の世代へつないでいくため、新たな価値創造を目指している。

**環境性、経済性に優れる
有線式電動油圧ショベル**

「PC138USE-11」は、電気モーターを駆動源とし人と環境にやさしい“排出ガスゼロ”を実現。

稼働現場での“排出ガスゼロ”により、クリーンな作業環境を実現する。

車両周辺的环境に優しく、工場内での産廃処理や自動車・家電解体作業など、電源(三相交流400V)が確保でき

る現場で幅広く活躍する。

エンジン車に比べランニングコストが安く経済的で、そのうえメンテナンスの手間も大幅に削減。

使用する電気代は軽油代より安く、ランニングコストを低く抑えることができる。

工場に設置された太陽光発電設備やボイラー発電設備の余剰電力を活用すれば更に環境に優しく、経済的。加えて、日々の燃料補給やエンジンオイルの交換、その他フィルター類の交換などメンテナンスの手間も大幅に削減でき、生産性・収益力向上に貢献する。

**快適性・安心
PC138USE-11**

同機は、エンジンによる振動がないためオペレーターの疲労を低減。エンジンを搭載していないため、オペレーターに伝わる振動が大幅に軽減され、作業中のストレスや疲労感が少なく快適な作業が行なえる。

しかも、エンジンを搭載していないため、車体からの発熱量が少なく、車体周囲に熱影響を与えにくいことから作業環境の改善に貢献する。

さらに、ホコリが多い産廃工場などでのオーバーヒート対策・車両火災対策にも有線式電動ショベルは有効。

車体からの排熱低減により、作業環境を快適化する。

■公表価格

「PC138USE-11」価格は、2億5千300万円(工場裸渡し/税別)。

年間販売目標は、5台(国内のみ)。

(※資料提供：コマツ)

